第13号様式の3(第16条の3関係)

建 築 工 事 施 工 結 果 報 告 書(中間・完了)

下記のとおり建築工事施工結果を報告します。
この報告書及び添付図書に記載の事項は、事実に相違ありません。

年　　月　　日

杉並区建築主事　宛

代表となる工事監理者　住　所　　電　話　(　　)
会社名　(　)級建築士事務所(　　)登録第(　　)号
氏　名　(　)級　建　築　士(　　)登録第(　　)号

工事施工者　住　所　　電　話　(　　)
会社名　建設業の許可　大臣・知事　第(　　)号
氏　名
(法人にあつては、その事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

品質窓口責任者氏名　　電　話　(　　)

下記の建築工事施工結果については、工事監理者より報告を受けました。

建築主　住　所　　電　話　(　　)
会社名
氏　名
(法人にあつては、その事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

記

(1) 建築工事施工計画報告書受付年月日及び番号			年　月　日　第　号			
(2) 工事現場	名　称		工区 棟	工事の種類	新築・増築・改築	
	所在地					
(3) 構造設計者	氏名		所属会社		電話　(　)	
(4) 現場代理人(所長)	氏名		現場事務所		電話　(　)	
(5) 階数	地上　階・地下　階　塔屋　階		(6)建築面積	m^2	(7)延べ面積	m^2
(8) 構造	木造・S造・RC造・WRC造・SRC造・混構造(　造＋　造)・その他(　)					
(9) 高さ	軒高　m　最高　m		(10)確認済証交付機関			
(11) 確認・計画通知、年月日及び番号	年　月　日　第　号					
(12) 計画変更年月日及び番号	年　月　日　第　号 年　月　日　第　号					
(13) 構造計算の方法	(X)　ルート(　)、(Y)　ルート(　)、その他(　)					
(14) 計画変更以降の軽微な変更(構造関係規定)			※ 受 付 欄			

(注意)　※印のある欄は、記入しないでください。

(日本産業規格A列４番)

様式３

工　事　監　理　状　況　報　告　書
工事監理者　　資格番号：　　級建築士　第　　号　　氏名：
工事監理組織（各担当分野　及び　担当者名）
工事監理に関する重点項目
検査等における工事監理者からの主な指示・指摘事項　及び　それらの対応方法
監理者総合所見

（日本産業規格A列4番）

様式４

その１

鉄筋工事施工結果報告書

鉄筋継手の試験・検査結果報告

平12建告第1463号（令第73条第２項） 関係

NO.	鉄筋継手の部位	工法名	継手の施工業者名	鉄筋の種別	鉄筋の径	試験・検査方法	試験・検査機関名（都登録番号）	試験・検査期間	不適格箇所	合否判定
	地中梁、 階柱～ 階梁 その他（ ）			SD ～ SD	D ～ D			R．． ～ R．．	有・無	合・否
	地中梁、 階柱～ 階梁 その他（ ）			SD ～ SD	D ～ D			R．． ～ R．．	有・無	合・否
	地中梁、 階柱～ 階梁 その他（ ）			SD ～ SD	D ～ D			R．． ～ R．．	有・無	合・否
	地中梁、 階柱～ 階梁 その他（ ）			SD ～ SD	D ～ D			R．． ～ R．．	有・無	合・否
	地中梁、 階柱～ 階梁 その他（ ）			SD ～ SD	D ～ D			R．． ～ R．．	有・無	合・否
	地中梁、 階柱～ 階梁 その他（ ）			SD ～ SD	D ～ D			R．． ～ R．．	有・無	合・否

≪不適格箇所の詳細≫（ 不適格と判断された NO.、部位、内容、対応方法とその結果 等を記入 ）

試験確認欄（合 計）	継手箇所数（箇所）		試験回数（回）		うち防災センター※3試験回数（回／%）		超音波探傷・測定検査（箇所／ロット又は%）	
	計画	実施	計画	実施	計画	実施	計画	実施
					／	／	／	／

（注意）1 試験・検査機関で行った結果を対象として記入すること。
2 鉄筋継手の部位、工法（圧接継手、溶接継手、機械式継手）及び試験・検査方法ごとに記入すること。
3 防災センターとは、（公財）東京都防災・建築まちづくりセンターのことをいう。

コンクリート工事施工結果報告書

コンクリートの試験結果報告

昭56建告第1102号（令第74条）、昭46建告第110号（令第76条） 関係

NO.	打込み箇所	打込み期間	Fc (N/㎟)	Fq (N/㎟)	供試体養生方法	判定強度（令第74条）	判定強度（令第 76 条）	試験機関名（都登録番号）	試験期間	不適格箇所	合否判定
	杭・耐圧盤・地中梁 階立上り～ 階床	R．． ～ R．．							R．． ～ R．．	有・無	合・否
	杭・耐圧盤・地中梁 階立上り～ 階床	R．． ～ R．．							R．． ～ R．．	有・無	合・否
	杭・耐圧盤・地中梁 階立上り～ 階床	R．． ～ R．．							R．． ～ R．．	有・無	合・否
	杭・耐圧盤・地中梁 階立上り～ 階床	R．． ～ R．．							R．． ～ R．．	有・無	合・否
	杭・耐圧盤・地中梁 階立上り～ 階床	R．． ～ R．．							R．． ～ R．．	有・無	合・否
	杭・耐圧盤・地中梁 階立上り～ 階床	R．． ～ R．．							R．． ～ R．．	有・無	合・否

≪不適格箇所の詳細≫（ 不適格と判断された NO. 、部位、内容、対応方法とその結果 等を記入 ）

試験確認欄（合 計）	打込容積（㎥）		試験回数（回）		うち防災センター※3試験回数（回／%）	
	計画	実施	計画	実施	計画	実施
					／	／

（注意）1 試験機関で行った結果を対象として記入すること。
2 打込み箇所ごとに、試験結果の合否判定を記入すること。
3 防災センターとは、（公財）東京都防災・建築まちづくりセンターのことをいう。

（日本産業規格A列4番）

その２

基礎・鉄筋コンクリート造部分等の確認項目

確認項目		確認内容 欄中の※は法令規定事項である重要確認項目を示す。			工事施工者 確認方法[注]	工事監理者 確認方法[注]
①全体	共通	※	令3章8節	a) 柱、はり、壁、スラブの位置の確認		
		※	令79	b) かぶり厚さの確保		
		※	法37	c) 鉄筋の材質(JIS規格)の確認		
		※	法37	d) コンクリートの材質(JIS規格)の確認		
②地盤・基礎	支持地盤 (試験ぐい(試)と本ぐい(本)それぞれについて、記載する。)	※	令38 令93 告1113	a) 支持地盤の位置、種類、地耐力等の確認		
				b) くいの支持地盤の位置、種類の確認(載荷試験を含む)	試 本	試 本
	くい、地盤改良等の種類、配筋等(試験ぐい(試)と本ぐい(本)それぞれについて、記載する。)	※	令38 令73 告1347 告1113	c) 場所打ちくいの材料、工法、長さ、径、位置、くい頭処理、継手、主筋径・数、かぶり、偏心による補強等の確認	試 本	試 本
				d) PCくいの材料、工法、長さ、径、位置、くい頭処理、継手、偏心による補強等の確認	試 本	試 本
				e) 鋼管くいの材料、工法、長さ、径、位置、くい頭処理、継手、偏心による補強等の確認	試 本	試 本
				f) 連続地中壁の材料、工法、長さ、径、位置、接合、補強鋼材、偏心による補強等の確認		
				g) 評価工法等のくいの材料、工法、長さ、径、位置、くい頭処理、継手、主筋径・数、かぶり、偏心による補強等の確認	試 本	試 本
				h) くい施工中の水の状況	試 本	試 本
				i) 偏心の状況(施工誤差許容値内、補強の要否、変更手続否・要・済)		
				j) 地盤改良の材料、工法、径、長さ、位置、耐力等の確認		
				k) 地盤アンカーの方向、材料、工法、耐力等の確認		
				l) フーチングの種類、部材寸法、主筋の径、本数、位置、ピッチ、定着等の確認(参考：配筋指針「基礎」等)		
	基礎の種類、配筋	※	令38 令73 告1347	m) べた基礎の種類、部材寸法、主筋の径、本数、位置、ピッチ、定着等の確認(参考：配筋指針「基礎」等)		
				n) 連続基礎の種類、部材寸法、主筋の径、本数、位置、ピッチ、定着等の確認(参考：配筋指針「基礎」等)		
				o) 独立基礎の種類、部材寸法、主筋の径、本数、位置、ピッチ、定着等の確認(参考：配筋指針「基礎」等)		
	地中ばり	※	令38 令73 令78 告1347	p) 地中ばりの断面寸法、主筋径、本数、位置、定着方法、継手(位置、長さ)、あばら筋の位置、径、間隔、形状、偏心による補強、貫通孔の位置及び補強(評定品の仕様確認)等の確認(参考：配筋指針「基礎」等)		
	マスコンクリート	※	令74 令75	q) 打設計画、コンクリートの温度、気温、養生、コンクリートの状態の確認、補修等(参考：JASS5「鉄筋間隔・あきの最小寸法」等)		
③柱	一般階主筋	※	令77	a) 柱寸法、主筋の径、本数、配置(方向)、偏心による補強等の確認(参考：配筋指針「基礎ばり」等)		
		※	令77	b) 2段筋の位置(間隔)の確認(参考：JASS5「鉄筋間隔・あきの最小寸法」等)		
	最上階主筋	※	令73	c) 柱頭鉄筋の止まり高さ、主筋の出隅のフックの確認、最上階の主筋のはりに対する定着確認(参考：配筋指針「柱頭(最上階)の配筋」等)		
	最下階主筋	※	令73	d) 最下階の主筋の基礎に対する定着確認(参考：配筋指針「柱脚(最下階)の配筋」等)		
	定着・継手	※	令73	e) 主筋の継手位置及び長さの確認(参考：JASS5「柱筋の継手の位置及び定着」等) f) 柱筋出隅部の鉄筋端部のフック確認		
		※	令3章8節	g) 打増しの大きさによる配筋補強確認(参考：配筋指針「柱・梁の打増しコンクリート補強筋」等)		
	帯筋	※	令77	h) 鉄筋径、間隔、本数(副帯筋共)及び形状の確認(参考：配筋指針「帯筋、副帯筋の一般形状」等)		

			※	令77	i) 主筋絞り部、折曲げ部の帯筋補強の確認(参考：配筋指針「柱筋の絞り位置と絞り方」等)		
			※	令77	j) 仕口部分の帯筋の配置確認(参考：配筋指針「帯筋の配筋間隔について」等)		
			※	令77	k) 第１帯筋と柱頭の拘束帯筋の位置確認(参考：配筋指針「帯筋の配筋間隔について」等)		
			※	令73 令77	l) 帯筋のフック又は溶接の形状、結束の確認(参考：配筋指針「帯筋の一般形状」等)		
	④はり	はり主筋	※	令78	a) はり断面寸法、はり主筋の径、本数及び位置の確認		
			※	令78	b) 中吊り筋の間隔の確保、長さ確認(参考：JASS5「鉄筋の間隔・あきの最小寸法」及び配筋指針「はり端部・中央部の配筋」等)		
		定着・継手	※	令73 令78	c) はり筋の定着長さ、位置確認(参考：JASS5「はり筋の定着」、RC規準「仕口への定着」等)		
			※	令73 令78	d) 重ね継手の位置と長さ確認(参考：JASS5「梁筋の継手の位置」「鉄筋の重ね継手の長さ」等)		
			※	令73 令78	e) はり筋出隅部の鉄筋端部のフック確認		
		打増し、貫通孔補強	※	令3章8節	f) 打増しの補強方法が適切か、貫通孔の位置及び補強の確認(評定品の仕様確認)(参考：配筋指針「柱・梁の打増しコンクリート補強筋」「はりの貫通孔補強」等)		
		あばら筋	※	令78	g) あばら筋の径、本数(副あばら筋共)とピッチの確認		
			※	令78	h) あばら筋のフック形状、結束の確認(参考：配筋指針「あばら筋の形状」等)		
		片持ちばり	※	令73 令78	i) 片持ばり主筋の定着、あばら筋位置確認(参考：配筋指針「片持ちばりの配筋」等)		
		小ばり	※	令73 令78	j) 小ばり配筋の位置と定着確認(参考：配筋指針「小ばりの端部・中央部の配筋」「定着」等)		
	⑤スラブ	スラブ筋	※	令77の2	a) スラブ厚さの支持条件、寸法、鉄筋のピッチと径の確認		
			※	令77の2	b) 主筋配置(短辺・長辺とベント配筋)の確認(参考：配筋指針「床スラブ」等)		
		定着、重ね継手	※	令73 令77の2	c) 定着と長さと方法(はり定着、隣接スラブ、段差スラブ定着)		
			※	令73 令77の2	d) 片持スラブの定着と上端筋位置確保(先端壁有無)(参考：配筋指針「片持スラブ」等)		
			※	令73 令77の2	e) 継手の位置と長さ(参考：配筋指針「床スラブ継手位置」等)		
		補強筋等			f) 床スラブの出入隅部の補強(参考：配筋指針「床スラブに関するその他の事項」等)		
			※	令3章8節	g) 開口部補強配筋確認(参考：RC規準等)		
			※	令3章8節	h) 階段部配筋と補強筋確認(参考：配筋指針「階段」等)		
	⑥壁	壁筋	※	令78の2	a) 壁厚、鉄筋の経、ピッチ、位置(土圧壁主筋・階段受け筋)の確認		
		定着・重ね継手	※	令73 令78の2	b) 定着確認(はり、柱、スラブ、壁定着)(参考：JASS5及び配筋指針「壁筋の定着」等)		
			※	令73 令78の2	c) 重ね継手の位置と長さの確認(参考：JASS5及び配筋指針「壁筋の継手の位置」等)		
		補強筋等	※	令78の2	d) 開口補強配筋確認(参考：配筋指針「壁開口補強」等)		
			※	令3章8節	e) スリット(完全、部分)の位置、形状及び配筋確認(参考：構造規定「スリットの配置及び詳細」等)		
	⑦その他	設備配管等			a) 設備配管(CD管等)の配置確認		
		ガス圧接継手	※	令73 告1463	b) 圧接部の長さ及び膨らみの直径、圧接面のずれ、鉄筋中心軸の偏心量の確認		
			※	令73	c) 圧接部の検査(引張試験、超音波探傷試験等)の検査箇所、検査率、合格率等の確認(参考：JASS5「ガス圧接継手」等)		
		特殊鉄筋継手			d) 認定、評定工法の仕様及び継手性能の確認		
			※	告1463	e) 認定、評定品以外の場合のモルタル、グラウト材又はトルク確認		
		型枠及び既存打設部分状況確認	※	令37 令79	f) 型枠及び支柱の締付け、清掃状況確認(参考：JASS5「型枠の検査」等)		
			※	令37 令79 告1372	g) ジャンカ処理、型枠等木片撤去補修確認(参考：JASS5「不具合とその修理方法の例」等)		

		※	令3章8節	h) 基礎、柱、はり、床板、壁の躯体寸法の確認		
		※	令76	i) 型枠支柱存置期間の確認		
		※	令75 令76	j) コンクリート打設後の養生(参考：JASS5「養生」等)		
		※	令72 令74	k) コンクリートの調合及び圧縮強度の確認(参考：JASS5「養生」等)		
	EXP.Jの確認	※	令36の4	l) 位置及び間隔の確認		
	PCaの品質・強度確認等	※	令3章6節	m) コンクリートの調合及び圧縮強度の確認(参考：JASS5等) n) 鉄筋の配筋確認 o) かぶり厚さ等の確認(告示1372号) p) 寸法精度の確認 q) 接合及び緊結の確認等 r) 製品検査結果(寸法精度、打ち込み欠陥等) s) 建方後の部材についての構造上支障のあるひび割れ等の欠陥の有無		
	プレストレストコンクリートの定着及び材料等の確認	※	令80の2等	t) プレストレストコンクリートの定着方法の確認、圧着面のモルタル強度等(告示1320号) u) プレストレストコンクリートの緊張材料強度の確認(告示1320号) v) プレストレスト導入時のPC強度の確認 w) プレストレスト導入張力の確認		
	屋根ふき材等の緊結の確認	※	令39 告109 告771	x) 屋根ふき材、外装材及び屋外に面する帳壁の構造方法の確認 y) 特定天井の構造方法の確認 z) 特定天井の腐食、腐朽、劣化等に関する確認（有効なさび止め、防腐その他の劣化防止のための措置等)		
	建築設備の構造強度の確認	※	令129の2の3 告1388 告1389	aa) 昇降機の構造方法 ab) 昇降機以外の建築設備の構造方法 ac) 屋上水槽等（法第20条第１項第１号～第３号に掲げる建築物に設けるものに限る。）		

（注意）確認方法

A：工事現場で目視又は計測機器により直接確認したもの

B：報告書により確認したもの

C：工場等で検査機器を用いて計測試験し、その結果を工事監理者又は工事施工者が確認したもの

D：第三者機関等が検査機器を用いて計測試験し、その結果を工事監理者又は工事施工者が確認したもの

E：工事監理者(構造担当：会社名　　氏名　　)が直接確認したもの

工事監理者及び工事施工者が、AからEまでの確認方法を参考に記入する。また、配筋工事等の重要項目については、工事監理組織欄に構造担当者が記載されている場合で、その構造担当者が直接確認したものについては「＋E」（記入例　A＋E、B＋E、B＋C＋E ）と記入する。

（日本産業規格A列4番）

様式５　その１

鉄　骨　工　事　施　工　結　果　報　告　書

鉄骨加工工場	名称			
	所在地		代表者氏名	
	認定番号　種別 評価対象期限	認定番号　　種別　　評価対象期限		
	溶接管理技術者	氏名　　資格		

		柱	梁	その他
使用鋼材	鋼材種別 (最大板厚) (mm)	SS　(　) SM　(　) SN　(　) STKR　(　) その他　(　)(　)	SS　(　) SM　(　) SN　(　) その他　(　)(　)	ダイアフラム (　) ベースプレート (　)

工　　場　　溶　　接

溶接部の受入検査	受入検査機関名		都登録　第　　号　CIW認定番号 第　　号
	受入検査機関の検査員		氏名　　資格
	検査項目	すみ肉	□外観検査(VT)
		完全溶込み	□外観検査(VT)：□表面欠陥検査 □溶接部の寸法 □外観形状 □その他（　　） □超音波探傷検査(UT)
	ロット構成		□各節ごと □製作部位(柱梁仕口接合部、柱接合部、その他)ごと □ロットの大きさ300個以下 □ロットの大きさ(　　個)以下 □その他
	抜き取り方法		□JASS6の方法 □ロットごと一律(　)% □ロットごと一律(　)個 □その他
	指定事項	すみ肉	初回抜き取り率　VT(　)%以上 ロット許容不良率　VT(　)%以下
		完全溶込み	初回抜き取り率　VT(　)%以上　UT(　)%以上 ロット許容不良率　VT(　)%以下　UT(　)%以下

	検査対象箇所数		初回抜き取り検査						追加検査		最終検査結果		
			検査ロット数		不良ロット数		合否		検査ロット数		不良ロット数		再検査
検査結果	VT	UT	VT	UT	VT	UT	VT	UT	VT	UT	VT	UT	合否

不良箇所の内容	
不良箇所の処理内容	

入熱・パス間温度管理状況	管理方法	溶接材料	
		パス間温度管理値	
		入熱量管理値	
		手順管理方法	
	結果管理	パス間温度	
		入熱量	
		手順管理	

内質検査※	検査方法	□硬さ試験 □不可逆性の示温塗料塗布 □その他
	ロット構成	□各節ごと □製作部位(柱梁仕口接合部、柱接合部、その他)ごと □ロットの大きさ300個以下 □ロットの大きさ(　個)以下
	抜き取り方法	□ロットごと一律(　)% □ロットごと一律(　)個 □その他
	結果の判定及び処置	
高力ボルト接合	すべり係数試験 すべり耐力試験	結果の判定および処置　：　□合　□否
	軸力導入試験	結果の判定および処置　：　□合　□否

※ 高さが45mを超える建築物で溶接する鋼材の板厚が25mm以上の部分又は高さが45m以下の建築物で溶接する鋼材の板厚が40mmを超える部分において、鉄骨造等の工事に関する東京都取扱要綱により内質検査を必要とする場合に実施した受入検査

工　事　現　場　溶　接

溶接管理技術者		氏名　　資格	
溶接部の受入検査	受入検査機関名	都登録　第　　号　CIW認定番号 第　　号	
	受入検査受託検査機関の検査員	氏名　　資格	
	検査項目 すみ肉	□外観検査(VT)	
	検査項目 完全溶込み	□外観検査(VT)：□表面欠陥検査 □溶接部の寸法 □外観形状 □その他（　　） □超音波探傷検査(UT)	
	ロット構成	□各節ごと □製作部位(柱梁仕口接合部、柱接合部、その他)ごと □ロットの大きさ300個以下 □ロットの大きさ(　　個)以下 □総溶接線数 □各階ごと □溶接技能者ごと □その他	
	抜き取り方法	□JASS6の方法 □ロットごと一律(　)% □ロットごと一律(　)個 □全数 □その他	
	指定事項 すみ肉	初回抜き取り率　VT(　　)%以上 ロット許容不良率　VT(　　)%以下	
	指定事項 完全溶込み	初回抜き取り率　VT(　　)%以上　UT(　　)%以上 ロット許容不良率　VT(　　)%以下　UT(　　)%以下	

検査結果

検査対象箇所数		初回抜き取り検査						追加検査		最終検査結果		
		検査数		不良数		合否		検査数		不良数		再検査
VT	UT	VT	UT	VT	UT	VT	UT	VT	UT	VT	UT	合否

不良箇所の内容	
不良箇所の処理内容	

入熱・パス間温度管理状況	管理方法	溶接材料	
		パス間温度管理値	
		入熱量管理値	
		手順管理方法	
	管理結果	パス間温度	
		入熱量	
		手順管理	

内質検査※	検査方法	□硬さ試験 □不可逆性の示温塗料塗布 □その他
	ロット構成	□各節ごと □製作部位(柱梁仕口接合部、柱接合部、その他)ごと □ロットの大きさ300個以下 □ロットの大きさ(　個)以下 □総溶接線数 □各階ごと □溶接技能者ごと □その他
	抜き取り方法	□ロットごと一律(　)% □ロットごと一律(　)個 □全数 □その他
	結果の判定及び処置	

※ 高さが45mを超える建築物で溶接する鋼材の板厚が25mm以上の部分又は高さが45m以下の建築物で溶接する鋼材の板厚が40mmを超える部分において、鉄骨造等の工事に関する東京都取扱要綱により内質検査を必要とする場合に実施した受入検査

（日本産業規格A列4番）

その２

確認項目				確認内容 欄中の※は法令規定事項である重要確認項目を示す。		溶接管理技術者 確認方法 注1	第三者検査機関 確認方法 注1	工事施工者 確認方法 注1	工事監理者 確認方法 注1	備考
Ⅰ報告書審査による確認事項（②～⑥は加工工場における作業に対する確認事項）	①加工工場の選定 注2		※	規則1条の3	建築物の規模等認定の条件に見合った生産能力の有無、溶接部の受け入れ検査率の確認					
	②鋼材の規格品質確認		※	法37	a) 鋼材、高力ボルトセットの規格品質の確認					
			※	令67	b) 溶接材料の規格と鋼材の組み合わせの適否					
	③組立精度の確認			令67 告1464	開先角度、ルート面、ルートギャップ、食違い等組み立て時の鉄骨の精度					
	④製品検査1（鉄骨部材の寸法精度測定）				鉄骨部材の寸法精度（参考：JASS6付則6鉄骨精度検査基準）					
	⑤高力ボルト接合部の処理		※	令67 告1464	高力ボルト接合部の摩擦接合面の処理、ボルト孔の径ピッチ・縁端距離等					
	⑥製品検査2（溶接接合部の検査）		※	令67 告1464	外観検査及び超音波探傷検査の結果確認 （参考：JASS6付則6鉄骨精度検査基準、UT規準）注6					
Ⅱ現場確認事項	1全体	①加工工場の類別	※	規則1条の3	表示板又は認定書による加工工場の類別グレード確認					
		②指定建築材料の品質規格確認	※	法37	a) 鋼材等の品質規格証明書と現物の照合					
			※	令67 告1464	b) 溶接材料の規格と鋼材の組み合わせの適否					
		③部材の配置	※	令69 令3章8節	柱、はり、ブレース、床版等の配置（確認図書との照合）					
		④部材の寸法・形状	※	令3章8節	柱、はり、ブレース、ダイアフラム、床版等の寸法・形状（確認図書との照合）					
		⑤建て方精度			架構の建て方精度（参考：JASS6付則6鉄骨精度検査基準）					
		⑥圧縮材	※	令65	圧縮材の有効細長比の確認					
		⑦柱の防火被覆	※	令70	一の柱のみの火熱による耐力の低下に関する確認					
	2溶接接合部	①工場溶接部分の外観・形状・寸法 注3	※	令92 98	a) 溶接継ぎ目の種類（突合せ溶接・すみ肉溶接）					
			※	令67 告1464	b) ダイアフラムとフランジのずれ					
			※	令67 告1464	B) 突合せ継手の食違い					
			※	令67 告1464	d) アンダーカット					
			※	令67 告1464	e) われ					

					f) その他の溶接部の外観・形状(参考：JASS6付則6鉄骨精度検査基準)							
			②工事現場溶接部分の組立精度 注4		令67 告1464	開先角度、ルート面、ルートギャップ、食違い等組み立て時の鉄骨の精度						
			③工事現場溶接部分の製品検査		令67 告1464	外観検査及び超音波探傷検査結果(参考：JASS6付則6鉄骨精度検査基準、UT規準) 注6						
			④工事現場溶接部の外観・形状	※	令3章8節	a)工事現場溶接部の部位(確認図書との照合)						
				※	令92 98	b)溶接継ぎ目の種類(突合せ溶接・すみ肉溶接)						
				※	令67 告1464	B)ダイアフラムとフランジのずれ						
				※	令67 告1464	d)突合せ継手の食違い						
				※	令67 告1464	e)アンダーカット						
				※	令67 告1464	f)われ・内部欠陥等						
						g)その他の溶接部の外観形状(参考：JASS6付則6鉄骨精度検査基準)						
		3 高力ボルト 注5	①トルシア形高力ボルト	※	令92の2 告1464	a)工事現場受け入れ検査(トルク係数値確認導入張力確認試験)実施状況及び保管状況の確認						
				※	令67 令92の2 告1464	b)ボルトの本数、スプライス数、摩擦接合面の確認						
				※	令67 令68 告1464	c)ボルトの径、孔径、中心距離、縁端距離の確認						
				※	令92の2	d)締付け状態の確認(肌すき・ピンテール破断・マーキングの状態の確認)						
			②高力六角ボルト(溶融亜鉛めっきボルト)	※	令92の2 告1464 告2466	a)締め付け機器の調整、工事現場受け入れ検査(導入張力確認試験)の実施状況の確認						
				※	令67 令92の2 告1464	b)ボルトの本数、スプライス数、摩擦接合面の確認						
				※	令67 令68 告1464	c)ボルトの径、孔径、中心距離、縁端距離の確認						
				※	令92の2	d)締付け状態の確認(肌すきの有無・マーキングの状態の確認)						
		4ブレース接合部			令3章8節	ブレース接合部の形式・板厚・材質・補剛材等の確認						
		5 柱の脚部の構造方法	共　　通		令66	柱脚接合工法と仕様の確認(確認図書との照合)						
			①露出形式 在来工法	※	令66 告1456	a)アンカーボルトの材質・径・本数とナットの高さの確認						
				※	令66 告1456	b)アンカーボルトの均等な配置の確認						
				※	令66 告1456	c)座金の使用、ナットの戻り止め措置の確認						
				※	令66 告1456	d)アンカーボルトの定着長さの確認						

				※	令66 告1456	e)柱の最下端の断面積に対するアンカーボルト全断面積の割合の確認						
				※	令66 告1456	f)ベースプレートの厚さの確認						
				※	令66 告1456	g)アンカーボルトの径・孔径・縁端距離の確認						
						h)アンカーボルトの締め付け状況の確認						
			②露出形式 既製品	※	令66 告1456	評定内容に適合しているかの確認						
			③根巻き形式	※	令66 告1456	a)根巻き部分の高さの確認						
				※	令66 告1456	b)根巻き部分の立ち上がり主筋の本数及びその頂部のかぎ状架構の確認						
				※	令66 告1456	c)立ち上がり主筋の定着長さ(根巻き部分・基礎)の確認						
				※	令66 告1456	d)根巻き部分の帯筋(令77②③)						
						e)スタッドボルトの径・本数・配置・溶接状況の確認						
			④埋込み形式	※	令66 告1456	a)柱の埋込長さの確認						
				※	令66 告1456	b)側柱・隅柱のU字型補強筋等による補強の確認						
				※	令66 告1456	c)埋込部分の鉄骨のかぶり厚さの確認						
						d)スタッドボルトの径・本数・配置・溶接状況の確認						
		6 床スラブ接合部		※	令3章8節 令80の2	a)床構造の形式 (合成スラブ・　　)						
				※	令3章8節	b)シャーコネクター(頭付きスタッド等)の施工状況・検査結果の確認						
		7 帳壁等の接合部				緊結金物の取り付け状況の確認						

(注意)

1 確認の方法

A：工事現場で目視・検査機器により確認したもの

B ：報告書により確認したもの

C ：工場等で検査機器を用いて計測試験し、その結果を工事監理者又は工事施工者が確認したもの

D ：第三者機関等が検査機器を用いて計測試験し、その結果を工事監理者又は工事施工者が確認したもの

E ：工事監理者(構造担当：会社名　　氏名　　)が直接確認したもの

工事監理者及び工事施工者がAからEまでの確認方法を参考に記入する。また、配筋工事等の重要項目については、工事監理組織図に記載されている構造担当者が直接確認したものは、「＋E」(記入例 A＋E、B＋E、C＋E) と記入する。

2 鉄骨加工工場については、規則第1条の3に基づく大臣認定制度がある。図書省略をしない場合は、大臣認定工場の指定はない。

3 当該工事の構造耐力上主要な部分のうち、工場で溶接された部分

4 当該工事で構造耐力上主要な部分の接合に工事現場溶接を用いる場合のみ記入する。以下の③及び④も同様

5 当該工事で構造耐力上主要な部分の接合に用いる高力ボルト等を選択して記入する。

6 UT規準：日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準」

(日本産業規格A列4番)